

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年11月30日(2023.11.30)

【公開番号】特開2021-138916(P2021-138916A)

【公開日】令和3年9月16日(2021.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2021-044

【出願番号】特願2020-213860(P2020-213860)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00(2006.01)

10

C 08 K 5/13(2006.01)

C 08 K 5/3477(2006.01)

C 08 L 101/08(2006.01)

G 03 F 7/004(2006.01)

G 03 F 7/032(2006.01)

C 08 G 59/26(2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 K 5/13

20

C 08 K 5/3477

C 08 L 101/08

G 03 F 7/004502

G 03 F 7/032

G 03 F 7/004512

C 08 G 59/26

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月21日(2023.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

30

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) ヒンダードフェノール系酸化防止剤と、(B) 熱硬化性成分とを含有する硬化性樹脂組成物であって、

(A) ヒンダードフェノール系酸化防止剤が、

(A1) 20 の蒸気圧が 1.0×10^{-7} Pa 以下であり、エステル骨格を有するヒンダードフェノール系酸化防止剤と、

(A2) イソシアヌレート構造を有するヒンダードフェノール系酸化防止剤と、を少なくとも含むことを特徴とする硬化性樹脂組成物。

【請求項2】

さらに、

(C) アルカリ可溶性樹脂と、

(D) 光重合開始剤と

を含むことを特徴とする請求項1に記載の硬化性樹脂組成物。

【請求項3】

(A1) 20 の蒸気圧が 1.0×10^{-7} Pa 以下であり、エステル骨格を有するヒンダードフェノール系酸化防止剤および(A2)イソシアヌレート構造を有するヒンダード

50

フェノール系酸化防止剤の配合量が、固体分換算で、(B)熱硬化性成分および(C)アルカリ可溶性樹脂の合計100質量部に対してそれぞれ0.1質量部以上5.0質量部以下であることを特徴とする請求項2の記載の硬化性樹脂組成物。

【請求項4】

請求項1～3の何れか一項に記載の硬化性樹脂組成物を樹脂層として有することを特徴とするドライフィルム。

【請求項5】

請求項1～3の何れか一項に記載の硬化性樹脂組成物、又は請求項4に記載のドライフィルムの樹脂層を硬化したことを特徴とする硬化物。

【請求項6】

請求項5に記載の硬化物を有することを特徴とする電子部品。

10

20

30

40

50